

2019年5月23日

株主の皆様へ

日 邦 産 業 株 式 会 社
代表取締役社長 岩佐 恭知

「第3号議案 当社株式の大規模買付行為に関する対応策（買収防衛策）の
継続の件」に関する背景及び目的について

謹啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第68期定時株主総会招集ご通知をご案内させていただくにあたり、はじめに当連結会計年度におきまして、多額な当期純損失を計上しましたことを深くお詫び申し上げます。

また、本年5月14日に発表しました決算短信に記載しました通り、第69期(2020年3月期)の連結業績は、回復を見込むに至っておりますが、未定としております株主配当の実現に向けて、全力で取り組む所存でございます。

さて、当社取締役会は、本年6月21日に開催します第68期定時株主総会（以下、「本株主総会」）において、「当社株式の大規模買付行為に関する対応策（買収防衛策）の継続の件」（以下、「本議案」）を議案として付議させていただきます。

当社は、近年、自動車、精密医療機器及びエレクトロニクスの3つの市場を成長領域と定め、これらの成長領域にマッチングする商材の開発を進めてきたことにより、自動車重要保安部品及び精密医療機器等に関するお客様の技術その他の機密情報を数多く保有するに至っております。

当社取締役会は、このような状況の中、当社株式の大規模買付行為が突然になされ、十分な検討ができないままに、当社の支配権が異動することになりますと、かかる機密情報の流出のおそれと相俟って、お客様と当社との良好な関係が毀損し、当社の企業価値ひいては株主共同の利益をも毀損する可能性が否めないことから、本株主総会に本議案を付議することを決定しました。

本議案が本株主総会で承認可決されますと、大規模買付行為に関し、大規模買付者による情報提供及び当社取締役会による十分な検討・評価というプロセスを確保するとともに、当社の企業価値ひいては株主共同の利益を確保・向上させるご提案か否かに関して、株主の皆様が適切なご判断をされるために必要かつ十分な情報とお時間を確保することが可能となります。

株主の皆様におかれましては、当社取締役会が本株主総会に本議案を付議する決定に至りました上記の背景と目的を何卒ご理解いただければと存じます。

謹白